

# にじいろフレス Vol. 32



発行 2023.4.1  
学育事業部

今月のテーマ【新年度チームで力を入れていくこと】

## 【上板橋第二小あいキッズ】

### 『ひだまりのような…』

“ひだまり”は自然とそこにあって、ほっとする温かさがあって、みんなが集まってきて、リラックスできて…そんな誰にとっても心地よい雰囲気作りをすることが、今年の上二小あいキッズの目指す姿です。そのためには、子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添い、違いを受け止め、認められることと合わせて、職員同士のチーム力を高めていきたいと思っています。ひだまりの温かさのように、力まず自然体の上二小あいキッズでいきたいです。



## 【江東きっずクラブ豊洲四丁目】

### 『第二のお家のような居場所』

昨年度は一人ひとりの力を様々な所で発揮してもらいました。今年度は個々の力をチームの力に変え、四丁目の強みにしていきたいと思っています。「チームで動くためにはどうしたらいいか」を職員一人ひとり考え、個人目標を設定します。やりがいや達成感を味わうことで存在意義を感じ、働く「楽しさ」に繋がると考えます。

人数が少なくすでにアットホームな四丁目ですが、今以上に働きに来る(帰って来る)のが楽しくなる、そんなお家のような居心地のいい場所にしたいと思います。



## 【志村第六小あいキッズ】

### 『職員の心がけて作る素敵なあいキッズ🌸』

職員の得意を活かせる『部会』に加え、新たに『声掛け委員会』を実施します。職員都合ではなく、子どもの立場になって声掛けができる職員集団を目指します。また、保護者向けには子どもたちが日々過ごしている、あいキッズの魅力を映像や体験を交え、伝えることで『参加したくなる保護者会』の開催をします。今年度は、職員一人ひとりがこれらを意識し、子どもにとって居心地の良い場所、そして保護者に安心してもらえる場所にしていきます！



## 【志村第二小あいキッズ】

### 『力を合わせてイベントを盛り上げていく』

志二のいいところ、それは何といても『団結力』そして職員みんなが率先して動いていけるところ。新年度に向けて、よりパワーアップした「1年生教え隊」や「キッズコーチ」になるために、職員と子どもたちで力を合わせて準備を始めています。

4月からは職員の数が増えることもあり、改めて『団結力』が試される時。季節ごとのフェスもしっかり計画を立て、職員みんなで盛り上げながら、子どもたちに楽しいイベントを提供していきます！



## 【大谷口小あいキッズ】

### 『子どもが主役・職員も笑顔』

令和5年度、大谷口小あいキッズは、職員一人ひとりが「やりがい・達成感」を得られるように、『好き』や『得意』を発揮できる活動を目指します。アンケートを基に担当チームを作り、職員同士が助け合い、協力し合いながら、子ども達と笑顔で楽しめる行事やイベントを実施できるように取り組んでいきたいと考えています。

子どもも職員も生き生きとした表情をあいキッズ便り等でお届けしていきますので、お楽しみに！



## 【志村坂下小あいキッズ】

### 『ぼっとホームからぼっとタウンへ』

次年度目指すのは保護者の声だけでなく、子どもたちの声や思いを受け止めて実行できるチーム！楽しさや魅力溢れるあいキッズと一緒に作るために「やってみたい」「参加したい」と思える行事やイベントの企画立案、わくわくキッズタイムを通して子どもたちから出てきた声や思いを実現します。

職員の思いや価値観を子どもたちに押しつけるのではなく、子どもたちからの熱い言葉や思いを受け止め、尊重できるような職員集団でありたいと思います♪

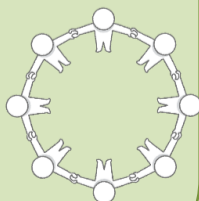


## 【志村第四小あいキッズ】

### 『得意を活かす部会制度！』

臨機応変、柔軟、反応の速さが志四小あいキッズの職員の良いところです。そんな職員の得意を適材適所で活かしていきたいと考え…、部会制度を導入します。部会は、「おやつ部」「お買い物部」「イベント部」

「広報部」「環境部」の全5チームです。職員の得意なこと、好きなことを活かして日々の充実を図るとともに、子どもたちの「楽しい」「嬉しい」に繋がっていかばと考えています。今年度も子どもたち一人ひとりが、ありのままて過ごせる居場所となれるよう、職員一同頑張ります。



## 【若木小あいキッズ】

### 『ひと手間のコミュニケーション』

新年度、若木は職員も子どもの数も少なくなります。変化を“チャンス”と捉えたいと思っています。少ない人数だけれども、今年度培ったコミュニケーションにひと手間を加え、子どもたちの「やりたい」「楽しい」を実現していくために、職員が一致団結していきたいと思っています。そして、子どもたちの声に出来るだけ耳を傾け、丁寧な対応が出来ることで、来年度も子どもたちにとって魅力あるあいキッズになればと思います。

